

10 自由記述

意識調査の最後に、ご意見・ご感想を自由に記述していただきました。また、各設問に「その他」欄を設け、選択肢以外の考え方を記入していただきました。これらを集計したところ、合計1,731件でした。

いずれのご意見も貴重かつ傾聴に値するものでしたが、紙面の都合上すべてを掲載できませんので、抜粋したものを次のとおりご紹介することにします。

皆様からいただいたご意見は、各設問の集計結果と併せ、北足立郡の各市町において人権行政の推進に活用してまいります。

なお、ご意見の内容については、趣旨を損なわないよう注意して一部要約したのもあります。

(1) 人権全般に関する意見

各々が日常生活の中で人権を意識していれば、高齢者、外国人に対しても人権を尊重できるはず。ただ、日常ではそんなことを意識する暇はなく日々に追われているので次第に鈍感になっている自分に気づくことがある。映画やインターネット、テレビなどのメディアで自然と他者への共感を喚起するようなコンテンツがもっとあればと思う。あるいは市でできることとしては、さりげないイベント、祭りなどを企画するのは面白いのではないかと思う。面白い試みをしているNPOや民間ベンチャーなどとコラボするのはいいと思う。

(男性、30歳代)

人権は憲法で保障される、一人一人が持つ個有の権利である。人は他人の人権を侵してはならないが、昨今の権利ばかりを主張するような風潮には辟易している。勿論、侵害されたときの為に或る程度の教育は必要だと思うが、同時に、他人の人権を害することがないよう「義務」についても語り伝えるべきだと思う。

(女性、20歳代)

人間としての権利を無視した不法な行為による傷害や最悪な死に至らしめる事件事故が多発する現代社会、人格体としての権利が世界的な喫緊な問題である。人種宗教及び性的等様々な差別による精神的身体的虐待を以って対処する行為は人間として恥ずべき事である。問題の解決は非常に困難であるが、人類が対処し改善解決の道筋を導かなければならない責務が課されている。人権を阻害する諸問題については、一国の活動は限界があり国際的な活動を展開する必要がある。その組織は国

連の場が最適である。しかし残念ながら国連の現状は複雑な国家間の対立に翻弄されて期待できない。自由、平等、友愛、「基本的人権」確立のために私達が身近に存在する弊害を地道な活動ながらも除去改革し安住な社会を構成していくべく連帯意識を高めて実現していく時代と痛感する。

(女性、70歳以上)

情報が大量に行き交う世の中だけに、完全な解決ができるとは思えない。できることは、情報を悪用することに対する罰則を重くして、その情報を流されていることに対して監視などを強化するべきだと思う。解決は無理でも、ある程度抑制・抑圧ができると思う。ただ、中には善意から行う人間もいて、一概には難しいとも思っている。それが事件につながることもあるため、世間への問題を提示することもまた難しいはず。

(男性、20歳代)

最近では情報社会となり、分らない事等を直ぐに調べる事が出来るとも便利な世の中になったが、その反面、隣近所との付き合いが希薄になり、昔より他人と話をする機会が減っているので、自分の考え方が正しいと思い込んでいる人が多くなっているような気がする。又、メディアによる影響を強く受けている人が多い事から、もっと、テレビ等でも分かり易く人権問題について伝えて欲しい。

(女性、40歳代)

日本は先進国の中でも人権に対し大変鈍感である。自分の人権に鈍感なものは、他人の人権を理解するのは難しいのではないかと。

(男性、70歳以上)

子供が親や祖父母を、親が子供を殺害してしまう。痛ましい世の中になってしまい悲しい。日本人の心、想いなど心の暖まる清々しいニュースが減ってしまっている世相が痛ましく残念。人権問題、高齢者や身障者への配慮して考え、生命の誕生の瞬間を思い出し喜びや感動を再確認してほしい。

(女性、50歳代)

女性と高齢者と外国人について、一部の人ではあるがモラルの問題があると思う。自分の立場だけを主張して努力をしない。行政として手を差しのべる必要性はあると思うが、そうでなく、一般の人も苦悩を持って生きている。人権問題以前に市として優先的に取り組むことがあるのではないかと。

(男性、30歳代)

日本人は外国人よりコンプレックスに対する意識が高いように思う。他人より劣っている事を非常に気にする為、他人の劣っている部分を探したりもする。劣っている部分への理解や、自分自身ではどうする事もできないマイナスの要因を、他者から補われたり、補ったりする事により、人権というものが守られていくのではないかと思う。

(男性、30歳代)

男性と女性と分ける事に疑問。男性である事と女性である事、性同一障がい、子ども、高齢、同和etc全てが個々の個性ではないのか？それをどの様に受け入れ、共に生活していく事が出来るのか、生まれた時からの環境、教育だと思う。そういう感性を持つ事が必要であり、その為の社会を作っていく努力が必要だと思う。政治家、教師、親、子ども、全てに対しての理念の教育が必要だと思う。

(女性、30歳代)

私達は生まれた時から生活する環境、両親、家族が人それぞれ違って、その置かれた環境によって生活や家庭での時間、社会との関わり方、進学先、就職先までが決まってしまうような世の中なんだと、どこかで、生まれてくる場所を選べない、自分はここで良かった、あぁなりたくない、などと他人から見た自分にだけが重要な事になって生活していると思う。他人を思いやることや他人の気持ちになるという行動は、授業や講演会などで人に教えてもらう特別なことで身に付くことで、できることではないと思う。家庭や学校、職場などで日常の中で、誰もが生活や心に余裕を持って暮らしていれば、自然と他人を思いやれるものだと思う。その為には、私たち一人一人が未来や、毎日の生活に希望や、楽しみを持って生きていけるような社会づくりが大切なのではないでしょうか。

(女性、40歳代)

基本的には思いやりであり、幼児期からの家庭での教育は大切だと思う。小さな集団の中だけの交流だけではなく、世界も視野に入れる事で固定観念を無くし、価値観を認め合えたらと思う。

(女性、40歳代)

近年、人権を重視する事により個々を主張しすぎる事が感じられる。学校における教師の立場が弱くなり、適切な指導が出来ない。女性を擁護しすぎて男性の立場が弱くなる。強い人が弱い人を守る考え方を教育して行く事で人権も守られて行くと考える。権利ばかりを主張する社会になってほしくない。

(男性、50歳代)

人権問題と個人情報保護問題が混ざってしまっている自分に気づいた。人権を盾に、矛盾を主張する人、気付かずに人権侵害している人が特に気になる。子育てをする中で、「人権問題」というのではなく、「あたり前のこと」を教育できたらなと思う。

(女性、20歳代)

権利に対する義務を明確に伝える必要がある。男女問題、子ども達に対する問題、老人問題、同和問題、外国人に対する問題等、全てに格差が出て来ている感じがする。

(男性、60歳代)

人権問題について、過剰に問題視することは避けつつ、決して軽んずることのないように。日本は比較的人権が尊重されていると思うが、表面に現れにくい根深い問題もあるため、社会全体での継続的な取組みが必要であり、行政の活動が重要である。

(男性、40歳代)

外国人に対する差別は無くすことは難しいが、歴史的な背景などを教育現場で教えていく必要がある。女性の人権の問題は、男性の側の考え方が変わらない限り解決しない。男性が育児しやすくなるような制度に改めるべき。

(女性、30歳代)

特定の個人や団体、民族等に対する人権侵害と思われる言動を出版物、メディア、インターネットを通じて見聞きすることがある。言論の自由に配慮しながら、度が過ぎるものについては対応の強化が必要と思われる。

(男性、30歳代)

メディアで差別行為がいかにかんげすべき行為か倫理的に訴える。子供への虐待は異常であるとしながらも、子育て中の親の大変さと孤独を知ってもらうことも重要だと思う。

(女性、30歳代)

格差社会が広がり生活が苦しく十分な教育が受けられない子ども、薬も買えない高齢者等、弱者が増えている。底辺の方も安心して暮せる支援策が必要だと考える。

(男性、60歳代)

最近、LGBTの人と関わる機会があった。いたって普通の人なのにトランスジェンダーである事で差別を受け、生活しにくい事を知った。日本では同性婚は法的に認められていないが、LGBTの人達が普通に結婚できる世の中になれば、幸せをもっと感じられるのだろうと思う。人が人を好きになるのに性別や国境は関係ない時代である今、その時代に合った社会が作られて行く事を希望する。LGBT＝性的偏見がまず最初に見受けられる。性的な部分だけをクローズアップするのは、色々な情報に振り回され、適切な理解をしていないからだ。彼らの訴えに耳を傾け、生活しやすいよう支援の輪が広がる社会を作ってほしい。また、個人が理解を深めて行く事も、少しずつ偏見のない社会を作るのに必要だと思っている。LGBTの人達が正々堂々と「私はLGBT!!」と言える世の中になってほしい。

(女性、40歳代)

男性の人権に関する設問が無い事が差別に感じた。男性と女性で性的な役割が違うのに、同じ役割を持たせるのには物的に不可能である。平等な役割ではなく対等な役割を持たせるべき。

(男性、20歳代)

親しい友人が性同一性障がいである。職場でカミングアウトをして病院に通い、名前は変えられたが、保険証などが手術(女→男)をしないと性別を変更できない。病院で名前を呼ばれ、人から見られることが嫌で具合が悪くても受診したくないという。そんな彼(以前彼女)を何とかしてあげたい。

(女性、50歳代)

(2) 女性に関する人権について

子どもの保育園入園が困難で、仕事に復帰できない。

(女性、30歳代)

現在のパートや派遣で働く女性が働きやすくない限り、いくら政治家や管理職に女性が参画しても解決にはならないと思う。

(女性、30歳代)

男女格差がまだあり、女性の社会への進出が難しい。

(女性、40歳代)

子育てしながら仕事をもつ女性への理解度があまりないように感じる。子供のい

ない方にはやはり理解してもらえないように思う。子育ての経験があるので子育ても仕事も大変なのは良くわかる。子育て中の女性をもっと温かい目で見守ってあげてもらいたい。こんな世の中だと本当に人口が減ってしまうと思う。

(女性、40歳代)

結婚しない若者、子どもを産まない若者とよく言われるが、しないのでなく、職場では賃金上昇はなく、子どもと仕事の両立ができる制度、設備もなく、なかなかできないと実感している。是非仕事と育児の両立の制度充実を望んでいる。

(女性、20歳代)

日本はとにかく女性の人権が守られていないと思う、外国人の友、知人、仕事相手と話すと、他国ではごく当たり前になされている男女平等がなく、驚かれ、同情されることが多い。しかしながら、日本の国際競争力が下落するばかりで、加えて、急速な高齢化という現実を前に、もはや男性だけの社会では対応できなくなってきた。したがって、いち早く女性の社会進出、人権保護に関する法整備を確立し、男女協同し、オールジャパンで日本が発展していかれるよう、行政でも進めていただきたいと切に願う。

(女性、40歳代)

女性が働きやすく、目標としている男女共同参画社会を実現するためには、休暇制度などの充実を図ったり、保育所の増設が不可欠であると思う。

(男性、20歳代)

(3) 子どもに関する人権について

子どもの問題については、現代社会の中ではどうしても父親や母親が1人で悩んでしまう環境である。虐待へとつながっていかぬよう、今ある子育て支援センターやファミリーサポート以外に低所得層が子どもを短時間預けるリーズナブルな利用料の事業などのサービスがあるといいと思う。

(女性、30歳代)

いじめの問題は昔から変わらず現在も続いている。特に今の子供は、私達が子供の頃は先生に対して反抗する事などあり得ない事だったが、今は何かあると学校側のせいにする。親自身子供のしつけについて考えるべきである。

(女性、30歳代)

親を頼れない子供こそ公的に最優先で支援すべきである。

(男性、40歳代)

子どもに対する暴力から死につながる事件が多く報道される毎日ですが、子どもが欲しくてもできない人がたくさんいるのに女性の人権にもつながるし、母親・父親学級でこの世の中の問題を背景とした内容で、親になる人は絶対参加で意識させるべきではないのか。子どもには何の罪もないので死なせてしまうくらいなら手放して子どもができない人に授けてほしい。今の社会をつくってきた40～50歳代の男性は尊ぶべき存在だと思うが、世の中に一番影響できる人たちなのだから彼らの意識改革もしていただきたい。

(女性、20歳代)

子どもに対する暴力、いじめ、虐待が続発していることを憂慮している。また、子どもの貧困もとても心配だ。子どもは国の宝です。どのような家庭に生まれても、ひとり立ちできるまでは国や社会が支援できる仕組みができることを願っている。

(男性、60歳代)

子どもの貧困問題に心が痛みます。環境によって教育を受ける機会が制限されたり、食べること、寝ること、安心して学校に通い他人の生活と大差なく生活できる社会が実現できたら良い。

(男性、40歳代)

最近、子供の人権を無視する親が多いと思う。周りの目を気にして、自分の思いどおりにいかなければ体罰を加えたり、ネットで注目されたいがために、かわいそうな親を演じたり、ネットが普及されてきたことにより、子供の人権が侵されてきていると思う。

(女性、20歳代)

子供のいじめ問題で、子どもが思いやりを持ったやさしい子に育ててないと思う。まわりの大人が小さい時からのしつけや育て方がうまくできていないのではないかと。核家族化しているため親の言動や考えがそのまま子供に反映している。もっと多数の大人がひとりの子に関わって柔軟な考えのできる子どもに育てていく必要があると考える。

(女性、50歳代)

(4) 高齢者に関する人権について

高齢者の特養施設が少なく、病院での入院が長期化している。

(女性、30歳代)

高齢社会になりつつある昨今においての高齢者に関する人権。安心して暮らしていける様、社会保障制度を充実して欲しい。

(女性、60歳代)

高齢者が働ける機会や場所をもっと増やして、70歳くらいまでは給料生活ができるようにしてほしい。

(女性、50歳代)

これから高齢化が進むので、孤独死が増えないようにしてほしい。

(女性、60歳代)

高齢者に対する振り込め詐欺が相変わらず多発している。知っていてもかかってしまうとのことなので、一層のPRと共に、犯罪者に対する厳しい罰則を規定してもらいたい。高齢者の一人住まいに対する、普段の接触方法を一層充実してほしい。

(男性、70歳以上)

個人個人を尊重し、支援、助け合いの心を持つ。ボランティア活動をしている中で、高齢者の介護施設等が少ない。

(女性、70歳以上)

(5) 障がい者に関する人権について

障がい者の就職先、作業所等の増設。

(男性、60歳代)

精神障がいをもった人でも暮らしやすい所であってほしい。

(女性、40歳代)

自分も幼少から障がいを持ち、著しく人権侵害を受けたことがある。誰も信用することがなかったので、他人に相談などの充実は実際役に立っていないと思う。我慢することを自分的に強いていたので、周囲の人の理解や意識の教育が重要かと思

う。災害時の市内放送があるが、聞こえない人やお年寄りには、どうやってお知らせするのか考えていただきたい。

(女性、50歳代)

(6) 同和問題について

人権問題の根は相手を心から思いやる心の欠如だと思います。相手が女性であれ高齢者であれ障がい者であれ同和地区の人であれ外国人であれ、その人の気持ちになって考えることの大切さを小学生から徹底して教育すべきです。(家庭でも)

(男性、70以上歳)

昔の事と思っているので学校で教わるまで知らなかったし、特に知る必要もない気がする。

(女性、30歳代)

多く的人是、気付かないうちに人権侵害をしているケースが多いと思われる。もし誰かが人権侵害をしていたら、その人に気付きを与えられ、改善に向かえるとよい。そのためには、相談できる人や周りが注意しやすい環境づくりが重要ではないか。

(男性 20歳代)

各々の人権問題についての現状把握→課題抽出→優先順位をつけた対策のサイクルを丁寧に実施していく事が必要と考える。「人権」については、まず、教育が大切。例えば「同和問題」に関しては、私自身、成人するまで知識がほとんどなかった。関西地区の方々と交流するまで具体的な事を知る機会がなかった。人間形成をされる若いうちに、人権問題の一つとして具体的な事象を含め、伝えることで多角的なポイントで物事を捉え判断できる。人間力向上の一助になるとおもう。

(女性 40歳代)

大変難しい問題ですが、教育・救済・啓発活動を粘り強く行っていくしかにと思います。時間は掛かりますがね・・・

(男性 40歳代)

同和問題について、これまで解決のために努力された関係者の方には敬意を表すが、今はもう知らない人も多く、そっとしておくほうが良いと思う。

(男性 70歳以上)

(7) 外国人に関する人権について

外国人労働者（特に女性）の受け入れの政策推進、環境整備が必要。

（男性、30歳代）

無料で日本語を学べる場所を少しでも多く設置し、日本人とコミュニケーションがうまく出来るようにしてあげられたら良いのではと思う。

（女性、60歳）

最近のニュースでは、イスラム国の問題、ヘイトスピーチ等で心が痛む。多種多様な人種、思想、生活習慣があるので、全てを尊重し理解する事は難しいと思うが、相手の立場に立って物事を考え人の嫌がる事はしない、非暴力で思いやりを持って寄り添う努力は惜しんではならないと思う。

（女性、50歳）

(8) インターネットによる人権侵害について

インターネット上に他人を誹謗中傷をする人は多い。匿名である為に陰険なことが出来ると感じる。名前は公開されるのであれば安易に他人を攻撃することはなくなると思う。又、犯罪だということになればネガティブなインターネット上の発言攻撃は激減すると思う。そうなることを願う。

（女性、40歳代）

インターネットの普及により、顔の見えないことをいいことに他人への誹謗中傷、プライバシー侵害等が増えてきているが、表現の自由という権利が助長しているように感じる。

（男性、30歳代）

現代社会は移動が楽になり、かつインターネットの発展により、理解し難い相手との接触は確実に増えている。個人がどうやって社会をどうするべきかを考えていく必要。相互の理解と多様性は相反するものではない。これをいかに両立するかが人権を考える上で大きな課題。

（男性、30歳代）

人権というと人として当たり前の権利なので、普段あまり意識することなく生活できている現状は、人権を侵害されていない幸せな日々なのだと思う。しかし、イ

インターネットによる人権侵害は、侵害する側も容易にできてしまうので、一歩まちがえれば、自分も関係しそうで怖い。SNSでの書込みなど、子供のうちに、しっかり学ばせておかないと、大変なことになる。インターネットは、世界中につながるなので、間違った情報や差別に関したものは、一生残ってしまう危険性がある。そういった情報化社会の怖さも、もっと人権対策として幼いうちから触れるべきだと思う。

(女性、30歳代)

壮年の健常者という立場から、差別を受けたという体験は少ないが、特にインターネット上における人権を侵害するような発言等は目を覆わんばかりのものが多く心が痛む。技術的に困難だと思われるが、発言者を特定できるシステムの開発に期待している。また、高齢化の影響で福祉、介護人材が不足している中、施設等での虐待事案が後を絶たない。劣悪な住環境での生活を強いる貧困ビジネスの問題もあった。医療・福祉分野で働く人材の確保と質の向上を担保するための方策が望まれる。

(男性、30歳代)

(9) 人権教育について

以前住んでいた地域は同和教育に力を入れていた。小さいときからの女性や外国人などに重点をおいた人権教育は重要だと思う。

(女性、30歳代)

人権について、幼児期から周りの方々から少しずつお話したり、考えていける環境が大切だと思う。子供には家庭、地域、学校で人権問題に触れながら自分で考えて社会に出られるようになってほしい。

(女性、50歳代)

多様な諸人権問題は解決には時間がかかると思うが、広報活動の推進、相談機能の充実、そして小さいときからの教育が大事かと思う。

(男性、60歳代)

男尊女卑の考え方がまだまだ多い。学校教育で、男女平等の大切さを教える必要がある。

(女性、20歳代)

幼児期からの教育が大切だと思う。ていねいに、幼・小・中・高・大と人権について歴史から学べるし、日常のことも感じることやどうあるべきか生徒同士でふだんから話し考え続けることができたらいいと思う。古い時代の偏見は親から子…と連鎖する、それがすり込まれる。そこから離れて新しい視点で見る訓練が必要だと思う。それは教育。教えられるだけでなく自分で考え自分の身に付ける、人権という考え方をていねいに考え、身に付けることが大切だと思う。格差ばかり拡がり、教育は経済力が無く受けられない子が多くなる。企業も人を使い捨て、人権が名ばかり、憲法も名ばかりになりそうな時代、是非考えたい人権のこと。

(女性、50歳代)

大人の意識を変革させることは現実的にはなかなか困難だが、将来を担う子どもたちに感受性の強い時に思いやりや差別意識の排除などが自然に身につくよう学校などで指導を強めていただきたい。「道德教育」という言葉は偏狭な愛国心教育につながり好まないが、最低限の社会的ルールを身につけさせる教育は今の若い世代に特に必要と思う。

(男性、70歳以上)

「人として何が正しいか」という道德教育を十分に受けていない人が、親や先生という立場になって、無意識のうちに、子供の人権に問題を与えてしまっているのではないかと危惧している。特にこの日本は、価値のあるものの正しい使い方を家で教えるものと解釈していて、学校ではほとんど教えていない。家と学校の両輪で、道德を充実・促進させるべき。大人が道德を受けられる学校があっても良いと思う。価値観の違うもの同士が社会を形成していて、人は助け合わなければいけないということを、教育や研修を通して浸透させることが、人権問題を減らす一助になると思う。

(男性、30歳代)

高齢者の増大が進み、交通機関、公共施設の充実の早期実行が必要と感じてる。人権問題を守る方策は職場、学校、地域の協力が急務と思う。市が中心で教育の場作りが大切。

(男性、60歳代)

差別された方の保護は当然だが、差別のない社会を確立し教育していくことが必要。

(男性、70歳以上)